

# テックドクターによる症例検討会での助言(佐賀県道路メンテナンス会議)

## <概要>

令和4年度 佐賀県道路メンテナンス会議(佐賀県技術検討部会)において、道路施設管理職員の技術力向上や今後のマネジメント(維持管理)等へ展開される事を目的とし、各地公体での症例を基に道路施設の健全度の判定や補修・補強技術など、地公体が悩んでいる案件について助言を受けた。

・開催日: 令和4年7月20日

・参加者: TEC-Doctor(佐賀大学 伊藤教授)、テックシニアーズ、佐賀県内20市町  
道路部、九州道路メンテナンスセンター、佐賀県、佐賀国道

会議・打合せ状況



会議後の相談状況



### 【武雄市】市道 追分医王寺線 新橋

事例1: 橋台部においてひびわれが発生しており、対策工事を行うためにどのような調査を行うべきか

・基本的にひび割れ幅がまだ止まっていないので、動態観測をして原因究明まで時間をもらった方がよい。

### 【小城市】市道 芦田・東分千 西平川4号橋

事例2: 上部工・支承部に多く腐食がみられ、事前の溶出結果で鉛の含有を確認したため、補修工法の相談

・床版部を下面より叩いた方がよいのではないかと推測される。状況より断面欠損、コンクリート舗装のクラックが多数あると推測される。

・こういう橋梁は大体支承周りと桁端から損傷が進む。原因は伸縮装置の防水切れや排水の目詰まり。よってきちんと防水効くような伸縮装置への取り替えが必要になる。

### 【嬉野市】市道 中蔵線 中蔵橋

事例3: 橋梁の構造が特殊で、地理的・文化財的な要件で位置の移動や架け替えが難しい。復旧工法や方法、他の自治体の事例などについて相談

・竿石の桁橋であるが、タイヤが乗るところがよく折れる。文化財的には継ぎ接ぎでは困ることなので、折れたのを取って、竿石を入れるかえるのはどうか。

・佐賀の長崎街道周りには中蔵橋のような300x300の正方形断面ではなく、台形に削った断面の竿石が多くて、かませて迫持ちさせるような摩擦を取るような構造が多い。大学に竿石が5・6本ある。300x300の断面で約5m。大学の周りの道路拡幅のときに、出てきたのを保管してあるので、使ってもらっても良い。讃岐の石で丈夫である。